

「看護学教育評価検討委員会」

1. 構成員

1) 委員

委員長：北川真理子（名古屋市立大学）

委員：高橋真理（順天堂大学）、上野栄一（福井大学）、小松万喜子（愛知県立大学）、高田早苗（日本赤十字看護大学）、佐々木幾美（日本赤十字看護大学）、叶谷由佳（横浜市立大学）、柳修平（東京女子医科大学）、中山栄純（北里大学）、西田朋子（日本赤十字看護大学）、安東由佳子（名古屋市立大学）

2) 協力者

片田範子（兵庫県立大学、前代表理事）、石川寛子（山崎総合法律事務所 司法書士）

2. 趣旨

専門分野別評価の推進に向けた評価基準の見直しおよび実施体制を検討する。

3. 活動経過

本委員会は平成 27 年度には 5 回開催した。説明会と定時社員総会を終えて、日本看護学教育認証評価機構（仮称）設置承認を受けたことから次の目標である最短平成 29 年度機構事業開始の目途に向けて、準備等を検討した。

大学院教育に関する専門分野別評価への取り組みが今年度の課題として示されたことから、新たに大学院の評価基準案の作成を行った。加えて、大学院の評価基準案を作成すると同時に、学士課程の評価基準案の項目や表現などの見直しを行い、その整合性を図った。

大学院における教育評価の基準については、学士課程で参考にした CCNE（Commission on Collegiate Nursing Education）の Standards for Accreditation of Baccalaureate and Graduate Nursing Programs の 4 つの基準（standard）や説明文などは大学院も共通であり、平成 26 年度に作成した学士課程の評価基準案をもとに作成した。今回、提示する大学院博士前期（修士）課程の評価基準（資料）は、学士課程の評価基準との対比において項目の共通性や各課程に特化する項目が捉えられるように見開きとした。大学院の評価基準案に大学院生の研究活動を支える観点を新たに加えたが、大学院の課程が多様化している中で、どこまでを包含していくかなどの課題が出され、現時点では研究者コース、CNS コースなどを包含することとした。また、すでに平成 23～25 年度に高等教育行政対策委員会が「看護系大学院における教育の基準策定と評価に関する調査研究」を行っているため、その委員長であった片田範子氏からの情報提供を受け、その報告書で示された「博士前期（修士）課程修了生が修得すべき能力（10 の「能力」と「能力の内容」42 項目）」を、評価項目にも取り入れる形で原案を作成した。

「学位論文指導体制」については、新たな評価項目として起こした。高度実践看護教育課程の評価は、別途教育課程審査体制があるため、より専門性に特化した箇所の評価については将来的な検討を行う必要があるといえる。

日本看護学教育認証評価機構（仮称）設置準備に関する司法書士との打合せは、機構設置に向けて、設立前に必要とする「定款を定める」などの準備内容の抽出を行った。

4. 今後の課題

機構設立までに必要とする準備は本委員会の事業となるため、引継ぎを円滑に行っていく必要がある。分野別教育認証評価の評価基準としての学士課程評価基準案と大学院博士前期（修士）評価基準案の精錬に加え、「評価実施要項」等の作成を手がけ、事業のスムーズな開始に向けた準備に努める。

評価基準については、受審校への説明や評価者研修時に詳細な説明の機会をもつ必要があると考えている。

平成 16 年 3 月に「看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標（看護学教育の在り方に関する検討会）」があるものの、分野別教育認証評価を実施していく上で、学士課程における看護学のコア・カリキュラムが必要である。

5. 資料

- 1) 大学院博士前期（修士）評価基準（案）[資料]

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

評価基準（案）1：看護学大学院課程の教育理念・目標

説明文	大学院課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
<p>【看護学大学院課程の教育理念・目標】 （当該）看護学大学院課程の教育理念・目標は、大学の教育理念・教育目標を反映（一致）しており、その独自性が見出されるものである。法的な基準、看護専門職団体や学術団体に示される基準に合致するものであり、国や地域の保健医療ニーズが考慮されている。設置主体（国立大学法人、公立大学法人、地方公共団体、学校法人）による当該教育課程への支持支援が安定して得られている。教職員は教育課程の実施と質を高める活動に関与しており、学生の意見を反映させる仕組みがある。</p>	<p>1. 看護学の大学院課程の教育理念・目標と人材育成目標</p> <p>1) 当該教育課程の教育理念と目標が明示され、看護学教育に相応しい内容であり、学生、教員に周知されていること</p> <p>2) 当該教育課程で育成しようとする人材像を示し、課程を示し、その課程を修めることにより付与できる資格等を公表していること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程の教育理念・目標が明示され、看護学教育にふさわしい内容である。</p> <p>◆当該教育課程の教育理念・目標が学生、教員に周知されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学報、大学院案内、入試要項などの刊行物およびホームページ ・大学院学則 ・大学院便覧 ・シラバス等 ・周知活動に関連する委員会等の活動記録 <ul style="list-style-type: none"> ・教員会議、教学関連委員会、FD 等での周知活動の資料・記録 ・新採用教員オリエンテーション ・新入生オリエンテーション ・カリキュラムガイダンス ・FD セミナー <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程で育成しようとしている人材像が明確に示されている</p> <p>◆当該教育課程を修めることにより付与できる資格等が示されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学案内、入試要項などの刊行物およびホームページ ・大学院学則 ・大学院便覧 ・シラバス等

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
<p>【看護学学士課程の教育理念・目標】 (当該) 看護学学士課程の教育理念・目標は、大学の教育理念・教育目標を反映(一致)しており、その独自性が見出されるものである。法的な基準、看護専門職団体や学術団体で示される基準に合致するものであり、国や地域の保健医療ニーズが考慮されている。設置主体(国立大学法人、公立大学法人、地方公共団体、学校法人)による当該教育課程への支持支援が安定して得られている。教職員は教育課程の実施と質を高める活動に関与しており、学生の意見を反映させる仕組みがある。</p>	<p>1. 看護学の学士課程の教育理念・目標と人材育成目標</p> <p>1) 当該教育課程の教育理念と目標が明示され、看護学教育に相応しい内容であり、学生、教員に周知されていること</p> <p>2) 当該教育課程で育成しようとする人材像を示し、課程を示し、その課程を修めることにより付与できる資格等を公表していること</p> <p>3) 当該大学の設置主体は、当該教育課程での教育研究活動に対して、それを支える方針や考えを明確にしていること</p> <p>4) 設置主体や所屬地域の保健医療・看護等のニーズ、法令等の変更を踏ま</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程の教育理念・目標が明示され、学生、教員に周知されている。</p> <p>◆当該教育課程の教育理念・目標は看護学教育にふさわしい内容である。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・大学案内など公的な刊行物 ・ホームページ <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程で育成しようとしている人材像が明確に示されている</p> <p>◆当該教育課程を修めることにより付与できる資格等が示されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・大学案内など公的な刊行物 ・ホームページ <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆大学の設置主体が当該教育課程での教育研究活動に対して、支援の方針を明示している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学案内など公的な刊行物 ・ホームページ <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆設置主体や所屬地域の保健医療ニ</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>3) 当該大学院の設置主体は、当該教育課程での教育研究活動に対して、それを支える方針や考えを明確にしていること</p> <p>4) 設置主体や保健医療・看護等のニーズ、法令等の変更を踏まえた改善が行われていること</p> <p>5) 当該教育課程の教育理念・目的を実現させるためのアドミッション・ポリシーが明示され、これを反映させた入学者選抜試験を実施していること</p>	<p>・学位論文作成規程・学位論文審査規程等</p> <p>【具体例】 ◆大学院の設置主体が当該教育課程での教育研究活動に対して、支援の方針を明示している。</p> <p>【資料】 ・学校法人 中長期計画、事業報告書等 ・大学院自己点検評価報告書 ・当該大学院課程における教員選考基準等</p> <p>【具体例】 ◆設置主体や所屬地域の保健医療ニーズ、あるいは法令等の変更をふまえた改善について教育課程の教育理念・目標が記載されている。</p> <p>【資料】 ・大学院自己点検評価報告書 ・大学院便覧 ・シラバス等 ・新旧のカリキュラム構成表 ・履修のモデルコース等</p> <p>【具体例】 ◆大学院教育課程の教育理念・目的をふまえたアドミッション・ポリシーが明示されている ◆入学者選抜試験はアドミッション・ポリシーを反映した方法で実施している。</p> <p>【資料】 ・大学案内、入試要項など公開されている刊行物およびホームページ</p>

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>えた改善が行われていること</p> <p>5) 教育課程の教育理念・目的を実現させるためのアドミッション・ポリシーが明示され、これを反映させた入学者選抜試験を実施していること</p> <p>6) 教育課程の実施体制における教職員・学生の役割が明確にされ、有意義な参加ができる仕組みをつくっていること</p>	<p>ズ、あるいは法令等の変更にあわせた教育課程の教育理念・目標が記載されている。</p> <p>◆設置主体や所屬地域の保健医療ニーズ、あるいは法令等の変更をふまえた改善について記載されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・大学案内など公的な刊行物 ・ホームページ ・年報や自己点検評価報告書など <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教育課程の教育理念・目的をふまえたアドミッション・ポリシーが明示されている</p> <p>◆入学者選抜試験はアドミッション・ポリシーを反映した方法で実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・大学案内、入学者選抜試験の募集要項など公的な刊行物 ・ホームページ <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程での教職員の役割が明示されている。</p> <p>◆当該教育課程での学生の役割や期待される活動が明示されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学案内など公的な刊行物 ・ホームページ

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>6) 当該教育課程の実施体制における教職員・学生の役割が明確にされ、有意義な参加ができる仕組みをつくっていること</p>	<p>・入試委員会計画・報告書 ・自己点検・評価</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】 ◆当該教育課程での教職員の役割が明示されている。 ◆当該教育課程での学生の役割や期待される活動が明示されている。</p> <p>【資料】 ・大学案内など公開されている刊行物およびホームページ ・教員組織 ・ティーチング・アシスタントおよびリサーチ・アシスタントに関する規程 ・学生の自治的組織の規程 ・教員・学生連絡等の構成 ・学生懇談会（教育・学習環境・健康管理・学生生活等に関する教員と学生の懇話の機会など） ・オフィスアワー ・チュートリアルシステム ・学位論文研究計画発表会 ・学位論文成果報告会</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>*学生の役割を明確にし、有意義に参加できる仕組みを明示してください</p>

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
		<p style="text-align: right;">等</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

評価基準（案）2：教育・研究を支える実施体制と資源

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
<p>【教育・研究を支える実施体制と資源】 教職員組織は、研究科長等のリーダーシップのもと、教育の理念・目的を達成し、継続的な質の向上を図るにふさわしい実施体制を整備している。大学、法人理事会により、目的を達成する上で必要な資源の整備・活用への提言の体制を計り、必要な支援が得られている。</p>	<p>2-1 看護学教育の責任者（学長、研究科長、専攻長など）</p> <p>1) 当該教育課程の看護学教育研究の責任者が、組織上適切に位置づけられていること</p> <p>2) 教育の目的の実現に必要な権限を与えられ、効果的な指導力を発揮できる体制があること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の責任者が大学院管理組織に適切に位置づけられている ◆教授会の役割が適切であり、当該教育課程の責任者の権限と責任が明確である <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織図 ・看護学教育の責任者（学長、研究科長、専攻長など）の選考基準 ・看護学教育の責任者に関する規程 ・教授会に関する規程 ・学位規程 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の責任者が各委員会活動を掌握し責任を持つための仕組みがある ◆責任者が教員の当該教育課程の運営への参画状況を評価するための仕組みがある ◆当該教育課程の責任者が教員組織編成の責任を持つための仕組みがある ◆当該教育課程の責任者が理事会で議題を提出できる <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会規程/規則/申し合わせ事項/ ・教員評価システム ・管理運営に関する委員会 ・公立大学法人定款、学校法人の寄付行為 ・組織図 <p style="text-align: right;">等</p>

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
<p>【教育・研究を支える実施体制と資源】 教職員組織は、学部・学科長等のリーダーシップのもと、教育の理念・目的を達成し、継続的な質の向上を図るにふさわしい実施体制を整備している。大学、法人理事会により、目的を達成する上で必要な資源の整備・活用への提言の体制を計り、必要な支援が得られている。</p>	<p>2-1 看護学教育の責任者（学長、学部長、学科長など）</p> <p>1) 当該教育課程の看護学教育研究の責任者が、組織上適切に位置づけられていること</p> <p>2) 教育の目的の実現に必要な権限を与えられ、効果的な指導力を発揮できる体制があること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の責任者が大学管理組織に適切に位置づけられている ◆教授会の役割が適切であり、当該教育課程の責任者の権限と責任が明確である <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織図 ・看護学教育の責任者（学長、学部長、学科長など）の選考基準 ・看護学教育の責任者に関する規程 ・教授会に関する規程 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の責任者が各委員会活動を掌握し責任を持つための仕組みがある ◆責任者が教員の当該教育課程の運営への参画状況を評価するための仕組みがある ◆当該教育課程の責任者が教員組織編成の責任を持つための仕組みがある ◆当該教育課程の責任者が理事会で議題を提出できる <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会規程/規則/申し合わせ事項/ ・教員評価システム ・管理運営に関する委員会 ・公立大学法人定款、学校法人の寄付行為 ・組織図 <p style="text-align: right;">等</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2－2 組織的取り組み体制</p> <p>1) 当該教育課程にふさわしい教職員の能力養成の仕組みをもっていること</p> <p>2) 当該教育課程の教員が教育を充実させるための教員能力開発を組織的・計画的に取り組んでいること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程の授業の改善・改革のための組織を位置づけている</p> <p>◆教職員の能力養成のための研修を計画的に実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD委員会活動計画/報告 ・教職員を対象にした研修内容、実施記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆新任教員対策・ピアサポート対策のFDを位置づけている</p> <p>◆教職員への教育活動に関する研修を計画的に実施している。</p> <p>◆サバディカル制度や大学院進学支援制度等、教員の能力向上のためのシステムが整っている</p> <p>◆当該教育課程で研鑽が必要な看護学教育の課題を意図的に検討し、計画的に設定している</p> <p>【資料】</p>

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>2-2 組織的取り組み体制</p> <p>1) 当該教育課程にふさわしい教職員の能力養成の仕組みをもっていること</p> <p>2) 当該教育課程の教員が学士課程教育を総体的視野で教育活動に取り組む適切な研修を実施していること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の授業の改善・改革のための組織を位置づけている ◆教職員の能力養成のための研修を計画的に実施している。 ◆授業科目間の関連性を定期的に見直ししている ◆アクティブ・ラーニングを実践する体制をもっている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー ・全教員に伝達する仕組み（学科会議、教員会議）フローシート ・教務委員会計画/報告 ・カリキュラム検討組織校正 ・FD 委員会活動計画/報告 ・教職員を対象にした研修内容、実施記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新任教員対策・ピアサポート対策のFDを位置づけている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人教員へのガイダンス関連資料 ・全教員を対象としたカリキュラム検討会の報告書 <p>【具体例】</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>3) 当該教育課程の教員が実践・研究開発能力を維持・向上するための機会が組織的に準備されていること</p> <p>4) 高度実践看護教育での実習指導に関わる指導方法の開発研究や研修がなされていること</p>	<p>・ 新任教員へのガイダンス関連資料</p> <p>・ 教職員を対象にした教育活動に関する研修内容、実施記録</p> <p>・ サバディカル制度や大学院進学支援制度等に関する規程、申し合わせ</p> <p>・ 全教員を対象としたカリキュラム検討会の報告書</p> <p>・ 教務委員会活動計画/報告</p> <p>・ FD 活動計画/報告</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆ 実習指導者との連絡会、報告会等が機能的・組織的に行われている</p> <p>◆ 学会、研究会、研修会、勉強会等の開催情報を教員に周知する仕組みがあり、参加するための支援がある。</p> <p>【資料】</p> <p>・ 実習指導者連絡会/報告</p> <p>・ 学会、研究会、勉強会等の情報の周知方法（教員会議、掲示等）がわかる資料</p> <p>・ 研修会等への参加に対する公的資金の支援状況</p> <p>・ 産官学との連携による研究・研修の組織や仕組み</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆ 実習での学生の行動特性に適合させた教育方法の開発や研鑽をしている</p> <p>◆ 実習指導教員に、課程全体の視野でとらえた指導方法を共有している</p> <p>◆ 実習現場の指導者との密接な協力体制による教育力開発のための組織的連携</p>

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>3) 看護学の教員が看護実践現場等での実践能力を維持・向上するための機会が組織的に準備されていること</p> <p>4) 当該教育課程の教育方法を充実させるための教員能力開発を組織的・計画的に取り組んでいること</p>	<p>◆実習指導者連絡会が機能的・組織的に行われている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者連絡会/報告 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程で研鑽が必要な看護学教育の課題を意図的に検討し、計画的に設定している</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会活動計画/報告 ・FD 活動計画/報告 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆臨地実習での学生の行動特性に適合させた教育方法の開発や研鑽をしている ◆実習指導教員に、課程全体の視野でとらえた指導方法を共有している ◆実習現場の指導者との密接な協力体制による教育力開発のための組織的

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2－3 教育研究上の組織編成</p> <p>1) 大学院看護学教育を実施するのに学術的、経験的に相応しい専門分野の教員組織編成となっていること</p> <p>2) 大学院看護学教育の教育目標・科目目標を達成するために相応しい教員及び教育支援者の構成が適切な体制であり、かつ人数であること</p>	<p>プログラムをもっている</p> <p>◆高度実践看護教育での実習における目的、目標、方法などを実習指導者間で共有できる機会を設けている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習指導に関する研修企画/実施記録等 <p>【具体例】</p> <p>◆教育課程の内容を教授するのに適切な編成である。</p> <p>◆教員確保のための基本方針を有し、教員が適切に確保されている</p> <p>◆領域ごとの教員の職位と数が適正である</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム構成図 ・教員採用規程 ・職員規程 ・教員組織の現況等 <p>【具体例】</p> <p>◆科目責任者と科目担当者の専門領域が明確であり、共通認識のもとで教育を実施できる体制である</p> <p>◆教育理念、教育目標に応じて、講義、演習、実習を展開するために必要な教員構成および十分な数が確保されている</p> <p>◆演習・実習の展開に適切な数の指導教員が配置されている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人事業計画・評価報告 ・教務委員会活動計画

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>5) 看護実習指導に関わる指導方法の 開発研究や研修がなされていること</p> <p>2－3 教育研究上の組織編成 1) 看護学教育を実施するのに学術的、 経験的に相応しい専門分野の教員組織 編成となっていること</p> <p>2) 看護学教育の教育目標・科目目標 を達成するために相応しい教員及び教 育支援者の構成が適切な体制であり、か つ人数であること</p>	<p>連携プログラムをもっている</p> <p>◆＜看護学士課程においてコアとなる 看護実践能力と卒業到達目標＞が実 習指導者間で共有できる機会を設け ている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修企画/実施記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教育課程の内容を教授するのに適切 な編成である</p> <p>◆教員確保のための基本方針を有し、教 員が適切に確保されている</p> <p>◆領域ごとの教員の職位と数が適正で ある</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム構成図 ・教員採用規程 ・職員規程 ・教員現況 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆科目責任者と科目担当者の専門領域 が明確であり、共通認識のもとで教育 を実施できる体制である</p> <p>◆教育理念、教育目標に応じて、講義、 演習、実習を展開するために必要な教 員構成および十分な数が確保されて いる</p> <p>◆演習・実習の展開に適切な数の指導教 員が配置されている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人事業計画・評価報告

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2-4 施設・設備の整備・管理</p> <p>1) 当該教育課程のカリキュラムの展開にふさわしい施設・設備が学内に整備されていること</p>	<p>・シラバス カリキュラム構造図</p> <p>・演習・実習要項</p> <p>・指導教員、科目担当教員等の基準に関する規程</p> <p>・臨床教員規程</p> <p>・非常勤教員の基準に関する規程</p> <p>・実習指導者に関する規程</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆学生が自己学習できる院生室や備品（パソコン、プリンター、ソフト等）が完備されており、適宜、点検・整備が実施されている。</p> <p>◆学内外から、学習に必要な情報へのアクセスができるように、ネットワーク環境が整備されている。◆院生室、備品、ネットワーク環境等について、学生の意見を把握し、改善に活かす取り組みがある。</p> <p>◆カリキュラムに相応しい講義室・演習室・実習室・視聴覚教室が適切に設置されている</p> <p>◆講義概要に即した図書・雑誌が整備されている</p> <p>【資料】</p> <p>・施設配置図</p> <p>・大学院備品リスト</p> <p>・ネットワーク環境が把握できる資料</p> <p>・院生室、備品、ネットワーク環境等について、遠隔授業・サテライトの取り組み、学生の意見を聴取した記録及び改善策の対応</p> <p>・シラバス・学生便覧等</p> <p>・蔵書目録</p>

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>2-4 施設・設備の整備・管理 1) 当該教育課程のカリキュラムの展開にふさわしい施設・設備が学内に整備されていること</p>	<p>・教務委員会活動計画 ・シラバス カリキュラム構造図 ・演習・実習要項 ・授業評価 ・臨床教員規程 ・実習指導者に関する規程 等</p> <p>【具体例】 ◆カリキュラムに相応しい講義室・演習室・実習室・視聴覚教室が適切に設置されている ◆講義概要に即した図書・雑誌が整備されている ◆実習用モデルなど機器・備品の更新が適切に行われている</p> <p>【資料】 ・施設配置図 ・シラバス 学習要項 ・蔵書目録 ・学科（専攻）備品リスト 等</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2) 当該教育課程の臨地実習に必要な施設を確保していること</p>	<p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高度実践看護教育における実習に相応しい施設が確保されている ◆臨地実習施設にカンファレンスルーム・更衣室が整備されている ◆臨地実習施設には、実習用の図書・資料・材料などが整備されている ◆臨地実習を行うに適した施設の確保は当該大学の責任において実施されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス 実習要項 ・実習施設との契約内容 ・実習施設、実習病棟（部門）、実習指導者の保有資格（専門看護師）等の概要が把握できる資料 <p style="text-align: right;">等</p>

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>2) 当該教育課程の臨地実習に必要な施設を確保していること</p> <p>3) 看護実習室の管理・指導体制が整備され機能していること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆領域別臨地実習に相応しい施設が確保されている ◆＜看護学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業到達目標＞が担保されている ◆臨地実習施設にカンファレンスルーム・更衣室が整備されている ◆臨地実習施設には、実習用の図書・資料・材料などが整備されている ◆臨地実習を行うに適した施設の確保は当該大学の責任において実施されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス 実習要項 ・実習施設との契約内容 ・安全管理体制 ・実習謝金 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生が自主的に利用できるように工夫されている ◆自主学習を支援する管理・指導体制ができています ◆看護展開の基本を伝えるにふさわしく常時管理され、使用ルールを共有している ◆看護実習室の運用に関する方針が規定され、教員や学生に周知されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習室利用の手引き ・予算/決算 消耗品等の費用

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>3) 演習・実験・実習における安全管理体制が整備され、教職員・学生に周知されていること</p> <p>4) 当該教育課程に係わる図書館は、構成員（学生）が十分に活用できるよう整備されていること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の教職員・学生の安全を保護するための体制、環境が整備されている ◆特別管理廃棄物処理設備の使用原則につき、学生への教育ができています ◆化学物質（毒物・劇物、有機溶剤、有毒物質等）、微生物、放射性物質等の安全管理に関する規程やマニュアルが整備されており、学生・教職員へ周知されている ◆実習時に発生した傷害・損害への対策が明示され、学生・教職員に周知している <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険（傷害保険 賠償責任保険） ・感染症対策マニュアル ・特別管理廃棄物/医療廃棄物処理マニュアル ・化学物質、微生物、放射性物質等の安全管理に関する規程やマニュアル ・情報流出防止の対策 ・災害時マニュアル ・保安・警備体制 ・防災教育・避難訓練の実施状況 ・災害時避難場所 ・備蓄用品、防災グッズ <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆定期購読の中に看護学で主要な英雑誌、和雑誌が登録されている ◆定期購読雑誌、ONLINE ジャーナルに

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>4) 安全管理体制が整備され、教職員・学生に周知されていること</p>	<p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の教職員・学生の安全を保護するための体制, 環境が整備されている、 ◆看護実習室での医療安全管理対策ができている ◆医療廃棄物処理設備の使用原則につき、学生への教育ができている ◆実習時に発生した傷害・損害への対策が明示され、学生・教職員に周知している <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険（傷害保険 賠償責任保険） ・感染症対策マニュアル ・医療廃棄物処理マニュアル ・情報流出防止の対策 ・災害時マニュアル ・保安・警備体制 ・防災教育・避難訓練の実施状況 ・災害時避難場所 ・備蓄用品、防災グッズ <p style="text-align: right;">等</p>
	<p>5) 当該教育課程に係わる図書館は、構成員（学生）が十分に活用できるように整備されていること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生が活用しやすいように工夫されている ◆自主学習を支援する管理・指導体制が

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2-5 財源・予算措置</p> <p>1) 当該教育課程に必要な予算措置が適切になされ、必要に応じて見直されていること</p>	<p>ついて教員や学生に周知されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生が活用しやすいように工夫されている ◆自主学習を支援する管理・指導体制ができています ◆要望によって新規図書の購入が可能である。 ◆図書室の運用に関する方針が規定され、教員や学生に周知されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書リスト ・図書館年報、月報、予算/決算書 ・図書館利用マニュアル ・図書館・情報室案内 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の教学に必要な予算編成に適切な組織を位置づけている ◆設置主体の予算決定に当該教育課程の責任者が適正に関与している ◆当該教育課程の責任者が教学に必要な予算執行ができる ◆当該教育課程の教員は、教育などに必要な予算の執行ができる仕組みがある <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制（組織図）の規程および報告書等 ・年度予算 ・当該教育課程の事業計画 ・各委員会の活動計画/活動報告 ・決算報告 <p style="text-align: right;">等</p>

<p><参考>学士課程 説明文</p>	<p><参考>学士課程 評価項目</p>	<p><参考>学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>2-5 財源・予算措置</p> <p>1) 当該教育課程に必要な予算措置が適切になされ、必要に応じて見直されていること</p>	<p>できている</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆要望によって新規図書の購入が可能である。 ◆定期購読雑誌、ONLINE ジャーナルについて教員や学生に周知されている ◆図書室の運用に関する方針が規定され、教員や学生に周知されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書リスト ・図書館年報、月報、予算/決算書 ・図書館利用マニュアル ・図書館・情報室案内 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆当該教育課程の教学に必要な予算編成に適切な組織を位置づけている ◆設置主体の予算決定に当該教育課程の責任者が適正に関与している ◆当該教育課程の責任者が教学に必要な予算執行ができる ◆当該教育課程の教員は、教育などに必要な予算の執行ができる仕組みがある <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制（組織図）の規程および報告書等 ・年度予算 ・当該教育課程の事業計画 ・各委員会の活動計画/活動報告 ・決算報告 <p style="text-align: right;">等</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
	<p>2) 当該教育課程の教員が教育研究に取り組むのに相応しい研究費が確保されていること</p> <p>3) 当該教育課程の教員が教育研究に必要な外部資金の確保を適切に実施できるような支援体制があること</p> <p>4) 教育能力開発に必要な経費が確保されていること</p>	<p>【具体例】 ◆当該教育課程の教員は、教育研究に必要な予算を適切に執行できる</p> <p>【資料】 ・教員研究費関連規程 ・学内研究体制 等</p> <p>【具体例】 ◆教育研究に必要な外部資金獲得のための情報を教員に周知する仕組みがある。 ◆外部資金による研究活動を支援する体制がある</p> <p>【資料】 ・外部資金情報についての周知方法がわかる資料 ・研究支援組織体制 ・外部資金獲得現況 ・利益相反マネジメントガイドライン 等</p> <p>【具体例】 ◆当該教育課程は組織的に教員が教育能力開発に取り組む体制がある ◆教育能力開発のために使用できる経費が予算化されている</p> <p>【資料】 ・研究費・研修費関連予算 ・海外留学予算 ・中・長期研修派遣予算 ・教材・図書等の購入予算 等</p>

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
	<p>2) 当該教育課程の教員が教育研究に取り組むのに相応しい研究費が確保されていること</p> <p>3) 当該教育課程の教員が教育研究に必要な外部資金の確保を適切に実施できるような支援体制があること</p> <p>4) 教育能力開発に必要な経費が確保されていること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程の教員は、教育などに必要な予算を適切に執行できる</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研究費関連規程 ・ 学内研究体制 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆外部資金獲得による研究活動ができるように情報を支援している</p> <p>◆外部資金による研究活動を支援する体制がある</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究支援組織体制 ・ 外部資金獲得現況 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆当該教育課程は組織的に教員が教育能力開発に取り組む体制がある</p> <p>◆教育能力開発のために使用できる経費が予算化されている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究費・研修費関連予算 ・ 海外留学予算 ・ 中・長期研修派遣予算 ・ 教材・図書等の購入予算 <p style="text-align: right;">等</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

評価基準（案）3：教育課程と教育・学習活動

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
<p>【教育課程と教育・学習活動】 教育課程は、当該大学独自の教育理念および看護学教育における教育目的・目標に基づいた編成であり、社会から求められている看護専門職像や看護学教育に関する答申等が反映されている。教育課程全体としては体系的であり、教育課程の全体像が明示され、周知されている。教育・学習の環境は、安全面・倫理面への配慮など、期待される成果の達成を促進・強化するために整備されている。</p>	<p>3-1 編成方針</p> <p>1) 教育課程は、ディプロマ・ポリシー、修了時の到達目標を反映して開発、改善されていること</p> <p>2) 教育課程は、カリキュラム・ポリシーに基づいて開発、改善されていること</p> <p>3) 教育課程は期待される修了時の到達目標を達成するために体系的に構成されていること</p> <p>3-2 教育・学習環境</p> <p>1) 教授学習活動が行われる環境は、期待される学生の学習成果の達成を促進するよう整備されていること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目的（コース、プログラム、科目、単元等）は、各教育課程で期待される学生の学習成果と関連している ・ 教育目標に合致する科目配置がなされている。 ・ 博士前期（修士）課程修了生が修得すべき能力（10の「能力」と「能力の内容」42項目）（日本看護系大学協議会2014）の観点が適切に組み込まれている。 ・ 高度実践看護師教育課程を持つ場合は、日本看護系大学協議会が定める教育課程基準を満たしている。 ・ 助産師および保健師養成課程を持つ場合は、保健師助産師看護師養成所指定規則に定められている単位に加え、修士課程としての教育内容を包含するものとなっている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム作成や改正における根拠資料 ・ カリキュラムマップ ・ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが記載されている資料 ・ 学生便覧、シラバス、履修要項 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習や演習を要する科目の場合、科目の目標に掲げられている能力を獲得し、高めることができるような環境や機会、指導者が準備されている ・ 障害を持つ学生に対する対応方針を

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
<p>【教育課程と教育・学習活動】 教育課程は、当該大学独自の教育理念および看護学教育における教育目的・目標に基づいた編成であり、社会から求められている看護専門職像や看護学教育に関する答申等が反映されている。教育課程全体としては体系的であり、教育課程の全体像が明示され、周知されている。教育・学習の環境は、安全面・倫理面への配慮など、期待される成果の達成を促進・強化するために整備されている。</p>	<p>3-1 編成方針</p> <p>1) 教育課程は、ディプロマ・ポリシー、卒業時の到達目標を反映して開発、改善されていること</p> <p>2) 教育課程は、カリキュラム・ポリシーに基づいて開発、改善されていること</p> <p>3) 教育課程は期待される卒業時の到達目標を達成するために体系的に構成されていること</p> <p>3-2 教育・学習環境</p> <p>1) 教授学習活動が行われる環境は、期待される学生の学習成果の達成を促進するよう整備されていること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育目的（コース、プログラム、科目、単元等）が期待される学生の学習成果と関連している ◆ 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標の5つの群が適切に組み込まれている ◆ 科目は、看護学の基礎を効果的に教授する科目構成と内容で構成されている ◆ 教養教育の授業科目は、人材育成の目的・目標に沿った教育内容で構成されている ◆ 専門関連科目と専門科目の連携が図られている ◆ 大学独自の科目が設置されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム作成や改正における根拠資料 ・ カリキュラムマップ ・ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーが記載されている資料 ・ 学生便覧、シラバス、履修要項 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生の安全を確保できるように教育・学習を行う環境を整えている。 ◆ 臨床の場や学内演習では看護実践能力が獲得できるような機会や指導者が準備されている

	<p>2) 教授学習活動が行われるすべての環境では、学生の安全面・倫理面への配慮をしていること</p>	<p>有し、個人に必要とされる合理的配慮が提供されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内施設（院生室、講義室、演習室、シミュレーションルーム、図書館、IT環境など）および臨地実習施設の状況がわかる資料 ・ 指導者（保有資格等）、指導の実際についてわかる資料 ・ 障害を持つ学生への学習環境整備、支援等について把握できる資料—規程、他の関連資料等 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 国内外において学生の安全を確保できるように教育・学習を行う環境を整えている。 ◆ 大学の管理運営の日常活動において、学生への倫理的配慮が的確になされている。 ◆ 当該教育課程の教育においては、倫理的配慮が確実になされている ◆ ハラスメントに対する予防策、対策がとられている ◆ 学生の学習活動における安全保護が確実にされている ◆ 大学生活における事故に対する対応方法が定められ学生に指導している ◆ 災害発生時の学生の行動指針、安否確認システムが整備され、適切に周知され訓練されている ◆ 感染症対策がとられている ◆ 学生のメンタルヘルスに対する取り組みがなされている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面や倫理面への配慮や対策がわかる資料 ・ 学生相談室や保健室、学生が利用でき
--	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>2) 教授学習活動が行われるすべての環境では、学生の安全面・倫理面への配慮をしていること</p> <p>3-3 教育・学習内容</p> <p>1) 教育課程と教授学習活動は、利益共同体（学生、設置主体、就職先、地域住民等）のニーズや関心を考慮していること</p> <p>2) 各科目（講義・演習・実習）のすべての教育内容は、到達目標に沿った内容であり、教育効果を高める教育方法の工夫が図られていること</p> <p>3) 臨地実習は、理論と実践が統合されるプログラムになっていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大学の管理運営の日常活動において、学生への倫理的配慮が的確になされている ◆ 当該教育課程の看護学教育においては、倫理的配慮が確実になされている ◆ 学生の学習活動における安全保護が確実にされている ◆ 大学生活における事故に対する対応方法が定められ学生に指導している ◆ 感染症対策がとられている ◆ 学生のメンタルヘルスに対する取り組みがなされている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内施設（講義室、演習室、シミュレーションルーム、図書館、IT 環境など）および臨地実習施設の状況がわかる資料 ・ 安全面や倫理面への配慮や対策がわかる資料 ・ 学生相談室や保健室などの運営状況や学生への対応がわかる資料 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各科目の教育内容は、到達目標に沿った内容である ◆ 各科目の展開が段階的に関連し、適切に学生に教授されている ◆ 時代の要請と最新の知見を踏まえた教育内容である ◆ 講義科目と実習指導において共通する内容が網羅され、連動している ◆ 高大連携や初年次教育などを意識し、大学教育、専門科目を学ぶための心構えを作るための工夫がとられている ◆ 教育方法に教育効果を高める種々の工夫がとられている
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>3) 教授学習活動が行われるすべての環境では、学生の経済面・キャリア面を考慮して整備されていること</p>	<p>る外部機関の設定等、運営状況や学生への対応がわかる資料</p> <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奨学金制度が整備されている ・ ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度が整備されている ・ 研究費獲得のための支援がなされている ・ 学生の修了後の進路に合わせた就職支援が計画的になされている ・ 学生個々のライフサイクルや背景にあわせた支援がなされている（例：妊娠、出産、育児、社会人学生、留学生など） <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奨学金制度、ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度が理解できる資料と活用状況がわかる資料 ・ キャリア支援に関する資料や実態がわかる資料 ・ 学生個々に応じた修学支援と運用の実態について把握できる資料 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各科目の教育内容は、到達目標に沿った内容である ◆ 各科目の展開が段階的に関連し、適切に学生に教授されている ◆ 時代の要請と最新の知見を踏まえた教育内容である ◆ 教育方法に教育効果を高める種々の工夫がとられている ◆ 個々の学生の学習状況にあわせた教
--	----------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>3-4 学生個々の学習活動・成果の評価</p> <p>1) 学生個々の学習活動・成果は期待される学生の学習成果を反映しており、教員により評価されていること</p> <p>2) 学生個々の成果を評価するための評価方針と手順は、一貫しているものが適用されていること</p> <p>3-5 教育課程と教育・学習活動の評価</p> <p>1) 教育課程と教育・学習活動は定期的に評価され、改善し続けられていること</p>	<p>◆ 個々の学生の学習状況にあわせた教育支援がはかられている</p> <p><資料></p> <p>◆ シラバス</p> <p>◆ 利益共同体（学生、設置主体、就職先、地域住民等）のニーズや関心を調査した資料</p> <p>◆ 実習要項、実習指導要領、実習施設、実習指導者の概要、実習施設における学生の学習環境などがわかる資料等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆ 成績評価基準が明確に定義されている</p> <p>◆ 成績評価について学生に伝えている</p> <p>◆ 卒業時到達目標である看護実践能力（技術・看護実践の理論）の修得レベルについて、確認している</p> <p>◆ 学生個々の臨床での実践の評価は、学生との話し合いや実際に実践を見た人からの意見等を合わせて評価している</p> <p>◆ 評価が体系的に考えられて実施されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価基準がわかる資料 ・ 学生への伝達方法と内容がわかる資料 ・ 卒業時やそれぞれの学年での到達目標が明示されている資料 ・ 臨床場面での実践に関する評価資料 <p>等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆ 期待される学生の学習成果に照らし合わせて、教員および学生からの教育・活動に関する評価データを活用</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>3-3 教育・学習内容</p> <p>1) 教育課程と教授学習活動は、利益共同体（学生、設置主体、就職先、地域住民等）のニーズや関心を考慮していること</p> <p>2) 各科目（講義・演習・実験・実習）のすべての教育内容は、到達目標に沿った内容であり、教育効果を高める教育方法の工夫が図られていること</p> <p>3) 実習は、理論と実践が統合されるプログラムになっていること</p> <p>3-4 学生個々の学習活動・成果の評価</p> <p>1) 学生個々の学習活動・成果は期待される学生の学習成果を反映しており、教員により評価されていること</p> <p>2) 学生個々の成果を評価するための評価方針と手順は、一貫しているものが適用されていること</p>	<p>育支援がはかられている</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シラバス ・ 利益共同体（学生、設置主体、就職先、地域住民等）のニーズや関心を調査した資料 ・ 実習要項、実習指導要領、実習施設、実習指導者の概要、実習施設における学生の学習環境などがわかる資料 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 成績評価基準が明確に定義されている ◆ 成績評価について学生に伝えている ◆ 博士前期（修士）課程修了生が修得すべき能力（10の「能力」と「能力の内容」42項目）（日本看護系大学協議会 2014）の観点を用いて評価している ◆ 学生個々の臨床での実践の評価は、学生との話し合いや実際に実践を見た人からの意見等を合わせて評価している ◆ 評価が体系的に考えられて実施されている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価基準がわかる資料 ・ 学生への伝達方法と内容がわかる資料 ・ 修了時や研究計画書作成時等、それぞれのステップにおける到達目標が明示されている資料 ・ 臨床場面での実践に関する評価資料 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期待される学生の学習成果に照らし
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育課程は教員、他の利益共同体（学生、設置主体、就職先、地域住民等）からも定期的に評価されている。 ◆ 評価データはカリキュラムや教授学習活動の改善に活用されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価（自己評価、他者評価）結果 ・ 在学生、教員からの評価結果 ・ 就職先等の第三者評価結果 <p style="text-align: right;">等</p>
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

--	--	--

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

	<p>2) 学位論文の指導体制が明示されていること</p> <p>3) 研究倫理審査及び利益相反に関する規程が機能していること</p>	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研究倫理審査基準、利益相反マネジメントガイドラインが学生に周知されている・ 適切に研究倫理審査が行われている・ 学生に対して、適切な研究倫理に関する教育が実施されている <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・ シラバス、他学生が理解するための大学独自の資料・ 研究倫理審査および、利益相反マネジメントに関する規程・ 研究倫理に関する科目や研修会等の資料と学生の参加状況や理解度が把握できる資料 <p style="text-align: right;">等</p>
--	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

--	--	--

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

評価基準（案）4：教育の有効性

説明文	大学院修士課程 評価項目	具体例・資料 具体例については、以下のことが把握できるような例を記載する。
<p>【教育の有効性】</p> <p>学生の卒業時到達度は、育成しようとする人材像（ディプロマ・ポリシー）と一致している。</p> <p>教育の継続的改善を促進するために、教育・学習成果の有効性に関する指標やデータを用いている。</p> <p>学習の成果に対する学生、修了生の満足度、修了生の雇用先からの評価や、教育活動の社会への貢献度が評価される体制がある。</p> <p>教員の教育・研究の成果は、当該教育課程の教育に貢献している。</p>	<p>4-1 修了時到達レベルの評価体制</p> <p>1) 育成しようとする人材像（ディプロマ・ポリシー）に照らして修了時の到達レベルを評価していること</p> <p>2) 修了時の到達レベルを評価するために、調査などのデータソースを利用していること</p> <p>4-2 学生の自己評価体制</p> <p>1) 教育目標に対する学習の到達状況について、学生が継続的に自己評価できる体制が整えられていること</p> <p>4-3 授業の評価・効果</p> <p>1) 各授業科目の成果が、教育課程の目標、ディプロマ・ポリシーの達成を反映していることを確認する体制があること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆ディプロマ・ポリシーにそって修了時の到達目標を設定し、評価方法を明示している。</p> <p>【資料】</p> <p>・ディプロマ・ポリシーと到達度評価表 等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆修了時の到達レベルの確認体制が整えられている。</p> <p>【資料】</p> <p>・修了時の到達レベルの評価シート、手順書 ・ポートフォリオ ・評価実績記録／報告書 等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆ポートフォリオなどの自己評価体制がある</p> <p>【資料】</p> <p>・ポートフォリオ ・ラーニング・マネジメント・システムなどの仕組み 等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆各授業科目の目標が、教育課程の目標、ディプロマ・ポリシーを達成する内容で構成されている。</p> <p>◆科目の授業目標・到達目標に沿った評</p>

<p>＜参考＞学士課程 説明文</p>	<p>＜参考＞学士課程 評価項目</p>	<p>＜参考＞学士課程 具体例、資料 具体例については、以下のことが把握で きるような例を記載する。</p>
<p>【教育の有効性】 学生の卒業時到達度は、育成しようとする人材像（ディプロマ・ポリシー）と一致している。 教育の継続的改善を促進するために、教育・学習成果の有効性に関する指標やデータを用いている。 学習の成果に対する学生、卒業生の満足度、卒業生の雇用先からの評価や、教育活動の社会への貢献度が評価される体制がある。 教員の教育・研究の成果は、当該教育課程の教育に貢献している。</p>	<p>4-1 卒業時到達レベルの評価体制</p> <p>1) 育成しようとする人材像（ディプロマ・ポリシー）に照らして卒業時到達レベルを評価していること</p> <p>2) 卒業時の到達レベルを評価するために、調査などのデータソースを利用していること</p> <p>4-2 学生の自己評価体制</p> <p>1) 教育目標に対する学習の到達状況について、学生が継続的に自己評価できる体制が整えられていること</p> <p>4-3 授業の評価・効果</p> <p>1) 各授業科目の成果が、教育課程の目標、ディプロマ・ポリシーの達成を反映していることを確認する体制があること</p>	<p>【具体例】 ◆ディプロマ・ポリシーにそって卒業時到達目標を設定し、評価方法を明示している。 【資料】 ・ディプロマ・ポリシーと到達度評価表 等</p> <p>【具体例】 ◆＜看護学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標＞における卒業時到達レベルの確認体制が整えられている。 【資料】 ・卒業時到達レベルの評価シート、手順書 ・ポートフォリオ ・評価実績記録／報告書 等</p> <p>【具体例】 ◆ポートフォリオなどの自己評価体制がある 【資料】 ・ポートフォリオ ・自己評価シート 等</p> <p>【具体例】 ◆各授業科目の目標が、教育課程の目標、ディプロマ・ポリシーを達成する内容で構成されている。 ◆科目の授業目標・到達目標に沿った評</p>

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

	<p>2) 評価にかかわる教員は当該教育課程で統一された評価基準を共有していること</p> <p>3) 学生による満足度や意見を反映する仕組みがあること</p> <p>4-4 教育活動の効果の測定・評価</p> <p>1) 修業年限内での修了者率は適切であり、必要な対策がとられていること</p>	<p>評価基準がシラバスなどに明示されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマップ、授業概要 ・シラバス（評価基準、評価方法） <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教員間で判定基準を共有する仕組みがある。 ◆学位論文審査の評価項目と評価基準が明示されている。 ◆最終試験の評価項目と評価基準が明示されている。 ◆修了認定基準、修了認定の体制・手続きが適切に設定され、実施されている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院学則、履修規程、学位規程 ・シラバス ・カリキュラムマップ ・評価基準 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生の意見を聴取する取り組みや、成績評価への疑問・不服等の把握する体制がある。 ◆論文審査、最終試験に関する学生からの異議申し立て手続きが規定されており、適切に実施されている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の意見聴取会／記録 ・不服申し立てに関する規程、周知資料 ・学生の授業評価への改善策等の提示 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆在籍者数が収容定員に対してバランスを失っていない。 ◆休学、退学などへの必要な対策がなさ
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>2) 評価にかかわる教員は当該教育課程で統一された評価基準を共有していること</p> <p>3) 学生による満足度や意見を反映する仕組みがあること</p> <p>4-4 教育活動の効果の測定・評価</p> <p>1) 修業年限内での卒業率率は適切であり、必要な対策がとられていること</p>	<p>評価基準がシラバスなどに明示されている。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマップ、授業概要 ・シラバス ・評価基準、評価方法の手順、評価体制 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教員間で判定基準を共有する仕組みがある。 ◆・科目間の関連性をカリキュラムマップなどに示して成果を評価している。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則、履修規程 ・シラバス ・カリキュラムマップ ・評価基準 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学生の意見を聴取する取り組みや、成績評価への疑問・不服等の把握する体制がある。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業へのレスポンスシートの活用例 ・学生の意見聴取会／記録 ・不服申し立てに関する規程、周知資料 ・学生の授業評価への改善策等の提示 <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆入学年次別の卒業率率分析と、留年、休学、退学などへの必要な対策がなさ
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>2) 修了生の雇用先からの評価や、教育研究活動の社会への貢献度を評価する体制があること</p> <p>3) 修了生および雇用主の満足度と、修了生の成果についての情報を収集するために、調査などのデータソースを利用していること</p>	<p>れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学位授与状況が適切である。 ◆高度実践看護師養成課程の修了後の免許・資格取得状況が適切であり、不合格者への対策、教育改善が検討されている。 ◆教育目標、ディプロマ・ポリシーの達成度から、アドミッション・ポリシー、入試制度を見直す体制がある。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍者数、収容定員、休学、退学などのデータ ・助産師または保健師国家試験合格率 ・専門看護師等の資格認定試験合格者数 ・国家試験、資格認定試験不合格者への対応方針 ・入試委員会などの検討記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修了生や雇用先への調査を実施している。 ◆修了後の動向に関する追跡をしている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生の就職先データ ・雇用先からの意見聴取の機会・方法 ・修士論文の公表等の実績 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修了生や雇用先の満足度、修了生の社会貢献に関する情報を得ている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生の動向調査 ・同窓会活動 ・雇用先からの意見聴取の機会・方法
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>2) 卒業生の雇用先からの評価や、教育活動の社会への貢献度を評価する体制があること</p> <p>3) 卒業生および雇用主の満足度と、卒業生の成果についての情報を収集するために、調査などのデータソースを利用していること。</p>	<p>れている</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆卒業後の免許取得状況が適切であり、不合格者への対策、教育改善が検討されている。 ◆教育目標、ディプロマ・ポリシーの達成度から、アドミッション・ポリシー、入試制度を見直す体制がある。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業率、留年、休学、退学などのデータ ・国家試験合格率 ・留年者・国家試験不合格者への対応方針 ・入試委員会などの検討記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆卒業生や雇用先への調査を実施している。 ◆卒業後の動向に関する追跡をしている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就職先データ ・雇用先からの意見聴取の機会・方法 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆卒業生や雇用先の満足度、卒業生の社会貢献に関する情報を得ている。 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の動向調査 ・同窓会活動 ・雇用先からの意見聴取の機会・方法
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

	<p>4－5 教員の教育活動の成果の教育への貢献の評価</p> <p>1) 各教員の教育活動の成果が当該教育課程の教育に貢献していること</p> <p>2) 教員の教育活動の成果の教育への貢献を評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員は個々の教育活動により教育に貢献している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p>
	<p>4－6 教員の研究活動の成果の教育への貢献の評価</p> <p>1) 教員は、当該教育課程の教育や人材育成の充実・発展を支える有効な研究を実施していること</p> <p>2) 当該教育課程を充実・発展させる研究成果を評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員の教育活動と教育への貢献を評価し、改善を実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の自己評価および学生による評価 ・自己点検・自己評価の公開 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員は教育や人材育成に有効な研究を実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員同士で研究活動をピアレビューする仕組みをもち実施している。</p> <p>◆研究業績を自己点検および自己評価で適切に評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアレビューの方策 ・研究成果の学内発表 ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 ・研究結果を教育に生かした事例

	<p>4－5 教員の教育活動の成果の教育への貢献の評価</p> <p>1) 各教員の教育活動の成果が当該教育課程の教育に貢献していること</p> <p>2) 教員の教育活動の成果の教育への貢献を評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員は個々の教育活動により教育に貢献している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p>
	<p>4－6 教員の研究活動の成果の教育への貢献の評価</p> <p>1) 教員は、当該教育課程の教育や人材育成の充実・発展を支える有効な研究を実施していること</p> <p>2) 当該教育課程を充実・発展させる研究成果を評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員の教育活動と教育への貢献を評価し、改善を実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の自己評価および学生による評価 ・自己点検・自己評価の公開 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員は教育や人材育成に有効な研究を実施している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員同士で研究活動をピアレビューする仕組みをもち実施している。</p> <p>◆研究業績を自己点検および自己評価で適切に評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアレビューの方策 ・研究成果の学内発表 ・自己点検・自己評価 ・紀要、年報などの報告書 ・研究結果を教育に生かした事例

大学院博士前期（修士）課程の評価基準

	<p>4－7 教員の社会活動の教育への貢献の評価</p> <p>1) 教員は、臨地実習施設を含め、地域の看護及び看護職者の資質の向上にむけた社会貢献活動に取り組み、当該教育課程の教育環境の充実に貢献していること</p> <p>2) 教員の社会貢献活動の成果が当該教育課程の教育環境の充実に貢献していることを評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員は、自己の専門性に基づき実施した社会貢献活動の実績を自己評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・社会貢献の成果、実績・報告書 ・ホームページなどの公開記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員の社会貢献活動の成果が教育環境の充実に貢献していることを評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・社会貢献の成果、実績・報告書 ・ホームページなどの公開記録 ・組織の社会貢献方針の明示
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>4-7 教員の社会活動の教育への貢献の評価</p> <p>1) 教員は、臨地実習施設を含め、地域の看護及び看護職者の資質の向上にむけた社会貢献活動に取り組み、当該教育課程の教育環境の充実に貢献していること</p> <p>2) 教員の社会貢献活動の成果が当該教育課程の教育環境の充実に貢献していることを評価する仕組みが組織にあること</p>	<p>【具体例】</p> <p>◆教員は、自己の専門性に基づき実施した社会貢献活動の実績を自己評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・社会貢献の成果、実績・報告書 ・ホームページなどの公開記録 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【具体例】</p> <p>◆教員の社会貢献活動の成果が教育環境の充実に貢献していることを評価している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検・自己評価 ・社会貢献の成果、実績・報告書 ・ホームページなどの公開記録 ・組織の社会貢献方針の明示
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------